

は東京最新
こ地動画
ち地連
らから
らHなど
らP



自交総連東京

全国自動車交通労働組合総連合東京地方連合会機関紙

4/1
(2026年)

No. 1207

発行=全国自動車交通労働組合総連合
東京地方連合会(自交総連東京地連)
〒110-0003 東京都台東区根岸4-11-10
電話3871-4115(代表) FAX3871-4120
発行人=林 悦夫
1部50円 郵送料別
(毎月1日の1回発行)
郵便振替口座 00110-2-66026番
購読料 前納制 1,500円
昭和51年11月5日第三種郵便物認可

全
都
協
共
同
版
教

統一行動に立ち上がるなかまたち

特別区・武三地区の運賃改定の実施時期が4月20日となるなか、3月16日から多摩地区は新運賃が実施されました。自交総連は26春闘においてノースライド獲得など労働条件改善をめざし、3月5日に中央行動を取り組みました。

東京地連は「ライ 組みの2波目としてドシエア全面解雇 統一行動に立ち上がり ノースライド+ りました。
α 労働条件改善 国土交通省前では26春闘」のストローガ 200人のなかまが参加し、東京から約2500枚の請願書

を参加者それぞれが職員に「よろしくお願ひします」と強い思いを込めて提出。庭和田中央闘争委員長は「維新のライドシエア法案が廃案となつたが国会情勢は

引き続き注視していかなければならぬ」と述べ、「自交総連はすべてのライドシエアに反対していく。また、飛鳥裁判としてたたかうなかで運賃改定時の合理

化が全国に広がっている。しっかりと趣旨を守らせる指導をしる」と国交省へむけて訴えました。

勝ち取るために

00人が集結した総決起集会では全労連秋山議長が「10%以上の賃上げとストライキを構えたたたかいを」と強調し、各単産からの決意表明では医労連から「もう限界。これが現場の声だ。月5万円以上の賃上げを勝ち取るためにたたかう」と訴えると、激励の拍手がわきました。

26春闘 強靱な組織で

団結を強固に

一人ひとりの声をあげ

3月12日の回答指 定日翌日に設定した 第3波統一行動は、 明番集会または門前

配付し、出庫するなかまに声を掛けながら送り出しました。26の28日の第4波には明集、門宣。4月に入り第5波として16、18日には決起集会またはストライキ・全集、第6波は23、28日に全集・明集を設定しています。



上=庭和田中央闘争委員長の訴えに耳を傾け 右=国交省へ個人請願するなかま



門宣するグリーンキャブ労組のなかま

明集は組合の主人公である組合員一人ひとりの生の声が公に表明される場となります。要求と関心がかみ合うよう、結果としていきましよう。

集会終了後には、国会請願デモへ出発し「消費税 インボイス制度廃止」のプラカードや「危険なライドシエア許さない」とする横断幕をアピールしました。同時刻には、自交総連の代表団が国交省、厚労省、全タク連と交渉を行いました。



議員団にむけて「自交総連がんばるぞ」

諸要求実現に結び付けて

26春闘の具体的な行動計画は、2月の第3回中央委員会を経て3月の第152回臨時大会において賛成多数で可決しています(関連記事2面)。

統一交渉ゾーンに合わせ6波の統一行動を組んでいますので、希望がもてる26春闘にしていくためにも対話と学びあいを通して、組合員同士の団結を強固にし、支え合える強靱な組織で諸要求の実現に結び付けていきましょう。

飛鳥裁判第15回回頭弁論【証人尋問】

日時 4月17日(金)9:00
場所 東京地裁526号法廷

現在係争中の飛鳥交通グループ賃金引き下げ訴訟もいよいよ終盤です。みなさんの傍聴支援をお願いします。



笑顔輸送月間 スタートしました

4月から笑顔輸送強化月間がはじまりました。標語が選ばれた日本交通労組の北原さんは「ドライバーとして必然です」と話してくれました。

